

石川県地震概況（令和3年4月）

令和3年5月11日
金沢地方気象台

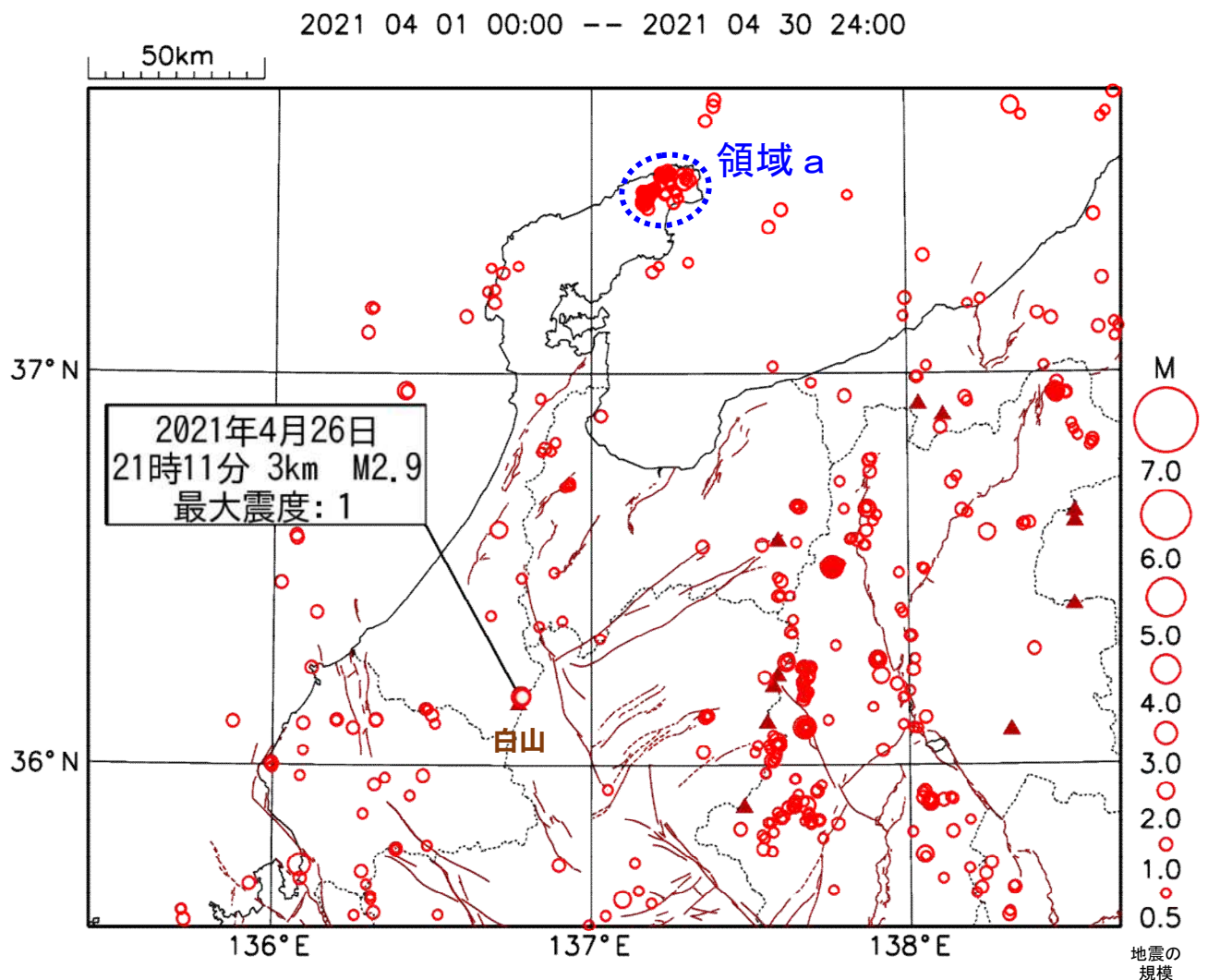
1. 概況

令和3年（2021年）4月に石川県内の震度観測点で震度1以上を観測した地震は1回でした。

石川県加賀地方（白山の山頂付近北側）で4月26日21時から23時頃にかけて一時的に地震が増加しました。最大の地震は26日21時11分のM2.9（深さ3km、白山市別宮町で震度1）でした。この地震活動以降、白山山頂付近のごく浅部を震源とする地震や火山性微動は観測されておらず、火山活動の活発化を示す変化は認められていません。この付近では2020年6月19日にも地震が多発するなど、これまでもまとまった地震活動が時々見られるところです。

このほか、石川県能登地方（下図の領域a）の震源付近では微小な地震活動が継続しています（5項第2図参照）。

2. 震央分布図



第1図 令和3年（2021年）4月の深さ0～30km、M0.5以上の地震の震央分布図
（図の茶色線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す）

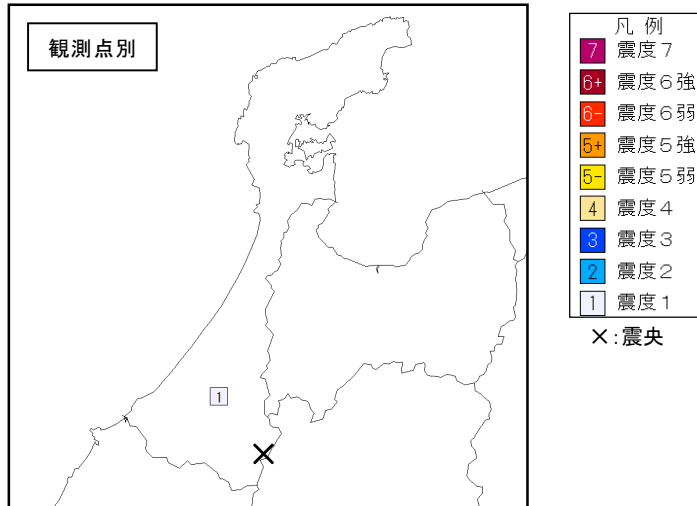
3. 令和3年(2021年)4月に石川県内で震度1以上を観測した地震の表

地震の発生日時	震央地名	緯度	経度	深さ	地震の規模
① 4月26日21時11分	石川県加賀地方	36° 10.6' N	136° 46.7' E	3 km	M 2.9
震度1 : 白山市別宮町*					

石川県で震度1以上を観測した地震について、石川県内の各地の震度を掲載しています。

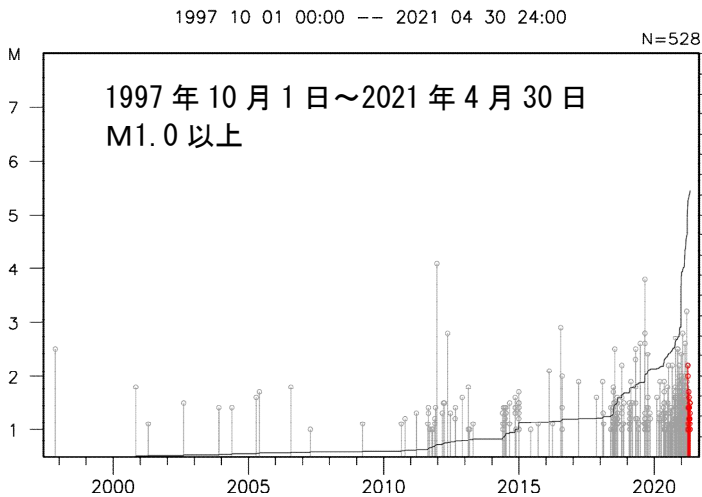
*の付いた観測点は石川県または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点、他は気象庁の観測点です。

4. 令和3年(2021年)4月に石川県内で震度1以上を観測した地震の震央と震度分布図

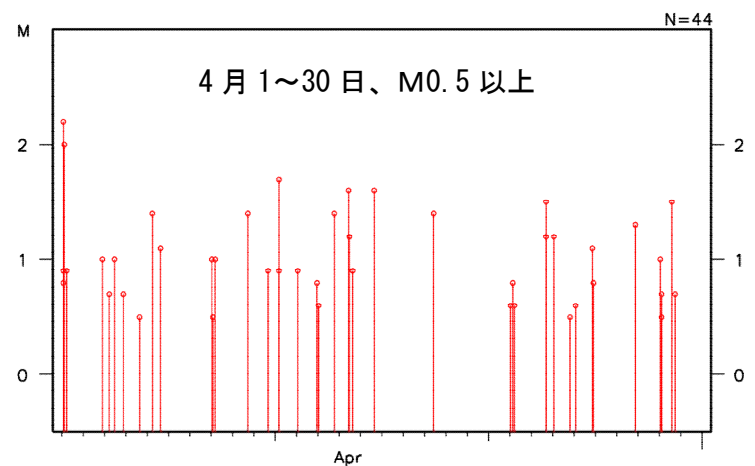


①4月26日21時11分の石川県加賀地方の地震
(石川県周辺)

5. 石川県能登地方の地震(2. 震央分布図中の領域a内)の地震活動



第2図 地震活動経過図及び、地震回数積算図

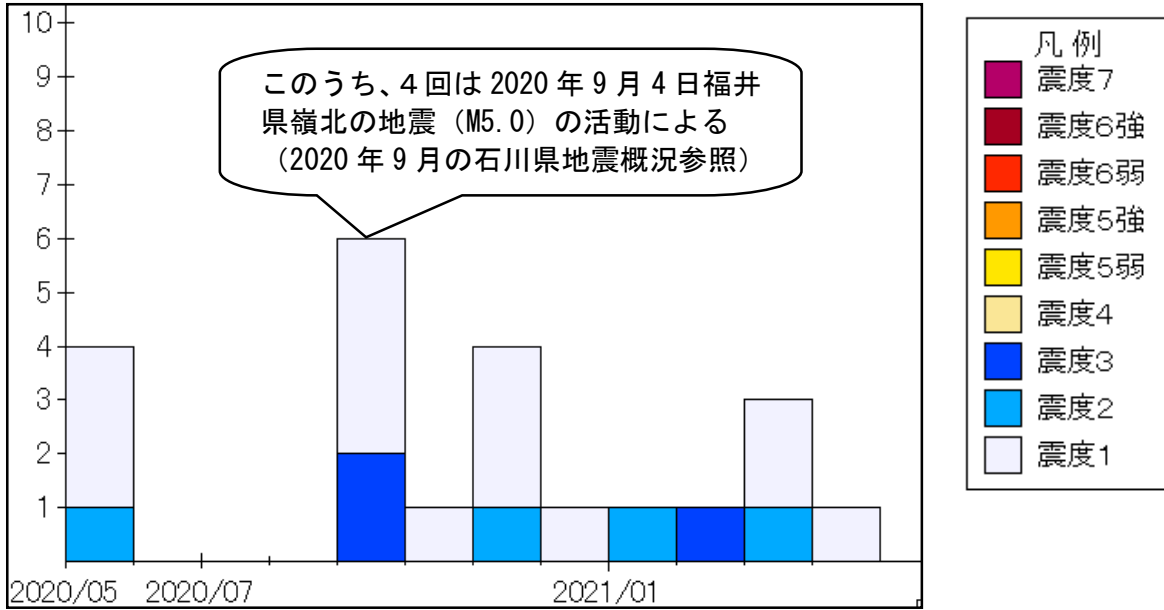


第3図 地震活動経過図

石川県能登地方(第1図の領域a)で、今月は震度1以上を観測した地震はありませんでした(先月1回)。

1997年10月以降の活動を見ると、領域a内では2018年頃からまとまった地震活動が見られており、活動は継続しています(第2図)。

6. 過去1年間に石川県内で震度1以上を観測した震度別地震回数のグラフ



震度階級表

震度階級	人の体感・行動	屋内の状況	屋外の状況
0	人は揺れを感じないが、地震計には記録される。	-	-
1	屋内で静かにしている人の中には、揺れをわずかに感じる人がいる。	-	-
2	屋内で静かにしている人の大半が、揺れを感じる。眠っている人の中には、目を覚ます人もいる。	電灯などのつり下げ物が、わずかに揺れる。	-
3	ほとんどの人が驚く。歩いている人のほとんどが、揺れを感じる。眠っている人のほとんどが、目を覚ます。	棚にある食器類が音を立てることがある。	電線が少し揺れる。
4	ほとんどの人が驚く。歩いている人のほとんどが、揺れを感じる。眠っている人のほとんどが、目を覚ます。	電灯などのつり下げ物は大きく揺れ、棚にある食器類は音を立てる。座りの悪い置物が、倒れることがある。	電線が大きく揺れる。自動車を運転していて、揺れに気付く人がいる。
5弱	大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。	電灯などのつり下げ物は激しく揺れ、棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。座りの悪い置物の大半が倒れる。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	まれに窓ガラスが割れて落ちることがある。電柱が揺れるのわかる。道路に被害が生じることがある。
5強	大半の人が、物につかまらなさと歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。	棚にある食器類や書棚の本で、落ちるものが多くなる。テレビが台から落ちることがある。固定していない家具が倒れることがある。	窓ガラスが割れて落ちることがある。補強されていないブロック塀が崩れることがある。据付けが不十分な自動販売機が倒れることがある。自動車の運転が困難となり、停止する車もある。
6弱	立っていることが困難になる。	固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
6強	立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされ、動くこともできず、飛ばされることもある。	固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物が多くなる。補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる。
7		固定していない家具のほとんどが移動したり倒れたりし、飛ぶこともある。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物がさらに多くなる。補強されているブロック塀も破損するものがある。

この資料は速報であり、後日の調査により修正することがあります。

※この資料に関する問い合わせ先

金沢地方気象台 地震担当 電話番号 076-260-1462

金沢地方気象台ホームページにも掲載しています。 <https://www.data.jma.go.jp/kanazawa/shosai/siryou.html>

「トップページ」>「気象台の刊行物・観測統計資料」>「農業気象速報・気象概況・地震概況・気象年報」から閲覧できます。

※本資料中のデータについて

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

※2020年4月18日から10月23日まで、及び2021年1月9日以降の地震について、暫定的に震源精査の基準を変更しているため、その前後と比較して微小な地震での震源決定数の変化（増減）が見られることがあります。

地震などに伴い、気象警報等の発表基準を 暫定的に引き下げることがあります

地震の強い揺れ（震度5強以上）で地盤が緩んだり火山噴火で火山灰が積もったりするなどして、気象災害発生に関わる条件が変化した場合、「気象警報・注意報」「土砂災害警戒情報」「指定河川洪水予報」等の発表において、通常基準を適用することが適切ではない状態となることがあります。

このような状態がある程度長期間継続すると考えられる場合、対象地域を必要最小限の範囲に限定して「暫定基準」を設定し、通常より低い基準で運用することがあります。

石川県では令和2年3月13日02時18分頃の石川県能登地方を震源とする地震による地盤の緩みを考慮し、石川県と金沢地方気象台が共同で発表する土砂災害警戒情報の発表基準（土壌雨量指数基準）について、震度5強を観測した輪島市では通常の8割に引き下げた暫定基準で運用してきましたが、令和3年3月16日13時をもって暫定基準を見直し、通常基準に戻して運用をしています。

金沢地方気象台HP

○土砂災害を対象とする大雨警報・注意報の暫定基準の廃止について（3月10日）

https://www.data.jma.go.jp/kanazawa/data/news/press_oame_haishi.pdf

○石川県土砂災害警戒情報における暫定基準の廃止について（3月10日）

https://www.data.jma.go.jp/kanazawa/data/news/press_dosyakei_haishi.pdf

なお、石川県で提供する「土砂災害情報システム(SABO アイ)」※や、気象庁で提供する「危険度分布」※についても、通常基準による判定となっておりますので、引き続き避難対象地域の絞り込みに活用してください。

※石川県の「土砂災害情報システム（SABO アイ）」や気象庁の「危険度分布」は、土砂災害警戒情報や大雨警報（土砂災害）等を補足するメッシュ情報です。

石川県：<https://sabo.pref.ishikawa.lg.jp/sabo-i/>

気象庁：<https://www.jma.go.jp/bosai/risk/>